

シーカメント®1100NT シーカメント®1100NTR

ポリカルボン酸系 高性能AE減水剤

概要 シーカメント®1100NT(標準形)およびシーカメント®1100NTR(遅延形)は、ポリカルボン酸系化合物を主成分とする高性能AE減水剤です。一般強度から70N/mm²程度の高強度コンクリート、高流動コンクリートまで広範囲に対応でき、高強度領域でも粘性が低く施工性の良いコンクリートが製造できます。また、シーカメント®1100NTRは、暑中におけるスランプロス、コールドジョイントの防止に適しています。

用途

- 70N/mm²程度までのコンクリート
- 高流動コンクリート
- 高い耐久性を必要とするコンクリート
- 通常のAE減水剤で目標単位水量を達成できない場合の代替混和剤
- 夏場におけるスランプロス、コールドジョイントの防止(シーカメント®1100NTR)
- マスコンクリートの水和熱低減対策(シーカメント®1100NTR)

特長

- 一般コンクリートから高強度、高流動コンクリートまで広範囲に対応できます。
- コンクリートの粘性が低く、施工性の良いコンクリートが製造できます。
- スランプ保持性に優れ、コンクリートの扱いが容易です。
- 使用材料および環境温度の影響を受けにくい混和剤です。

規格 JIS A 6204 高性能AE減水剤 標準形(I種)：シーカメント®1100NT
遅延形(I種)：シーカメント®1100NTR

主成分および物性

製品名	主成分	外観	密度(g/cm ³)	塩化物イオン(Cl ⁻)量(%)	全アルカリ量(%)
シーカメント®1100NT	ポリカルボン酸系化合物	黄褐色液体	1.050~1.080	0.01	1.1
シーカメント®1100NTR	ポリカルボン酸系化合物	黄褐色液体	1.060~1.100	0.01	1.7

塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例

使用量および使用方法

- ・使用量はセメント質量に対して0.5~3.0%の範囲で、目標とする単位水量が得られるように、あらかじめ試験練りによって確認して下さい。
- ・コンクリートの空気量調整にはシーカのAE剤を使用して下さい。
- ・通常のAE減水剤同様に練混ぜ水に混合して使用して下さい。

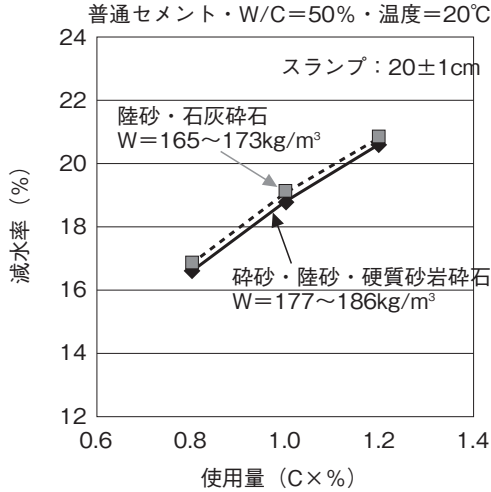
保存期間 缶類の場合未開封で直射日光を避け冷暗所にて保管して6カ月

荷姿 タンクローリー、200kgドラム缶、18kg缶(缶類は受注生産)

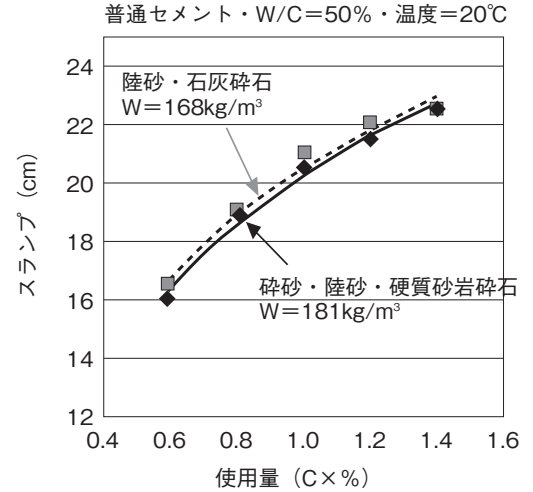


性能

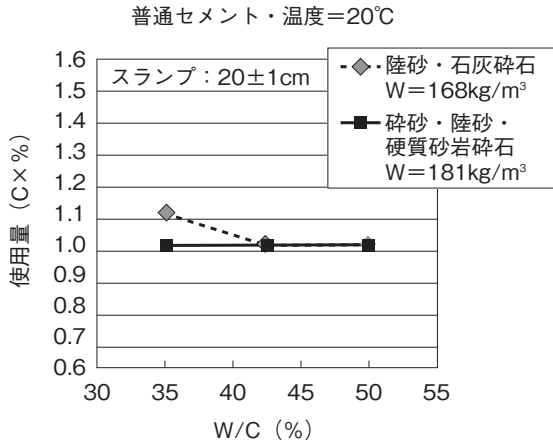
使用量と減水率の関係



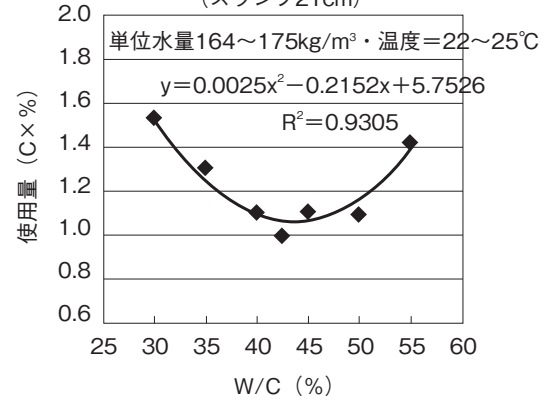
使用量とスランプの関係



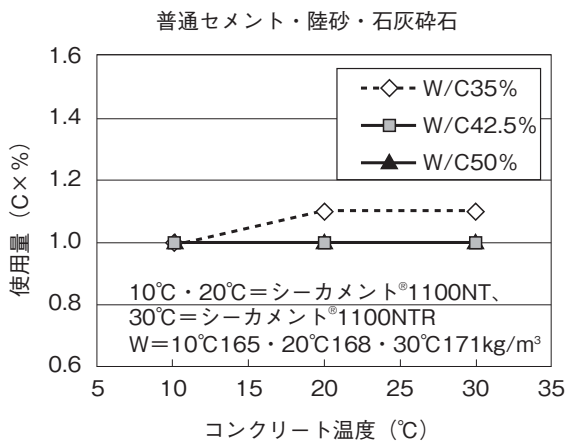
水セメント比と使用量の関係



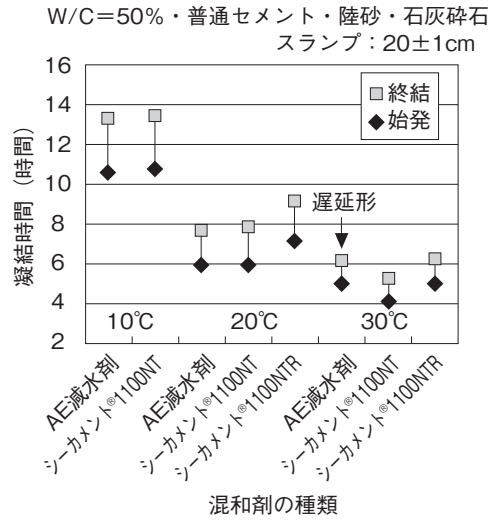
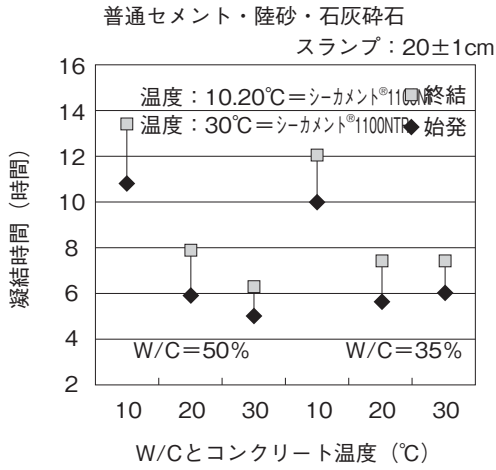
東京近郊生コン（17工場）での試験結果より （スランプ21cm）



コンクリート温度と使用量の関係

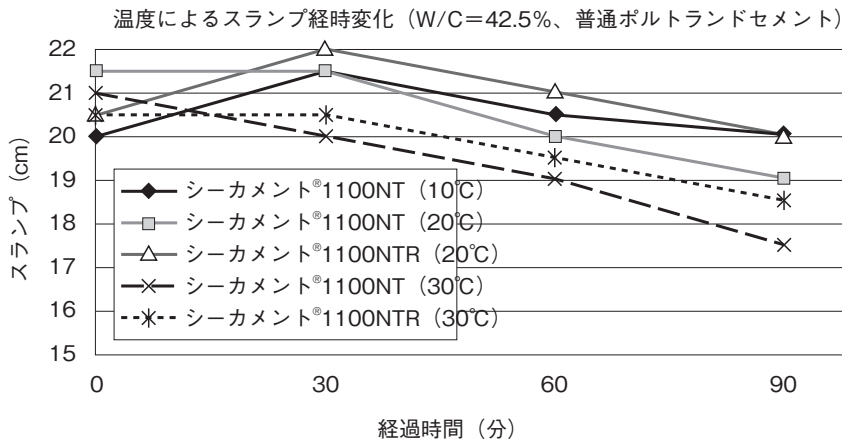


凝結時間(普通ポルトランドセメント)

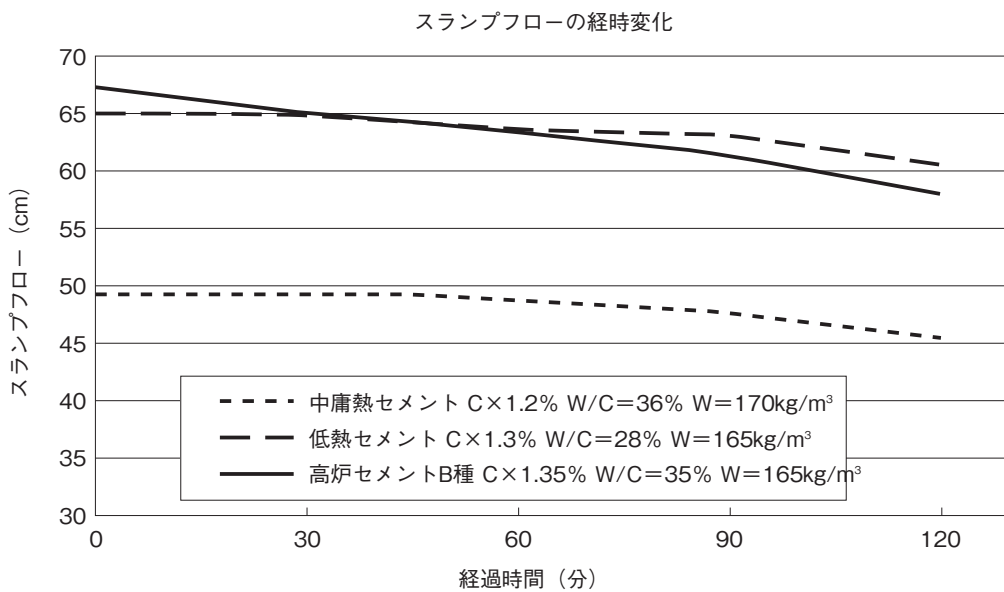


経時変化

スランプコンクリート



フローコンクリート



JIS A 6204 高性能AE減水剤規格による試験

品質項目	標準形	シーカメント®1100NT	遅延形	シーカメント®1100NTR	
	規格値		規格値		
減水率(%)	18以上	19	18以上	19	
ブリーディング量の比(%)	60以下	36	70以下	32	
凝結時間の差 (min)	始発	-60~+90	+40	+60~+210	+175
	終結	-60~+90	+40	0~+210	+170
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	125以上	144	125以上	147
	材齢 28日	115以上	133	115以上	132
長さ変化比(%)	110以下	93	110以下	94	
凍結融解に対する抵抗性 [相対動弾性係数(%)]	60以上	93	60以上	95	
経時変化量 (60分後)	スランプ(cm)	6.0以下	1.0	6.0以下	0.5
	空気量(%)	±1.5以内	-0.5	±1.5以内	0.3
塩化物イオン(Cl ⁻)量(kg/m ³)	0.02以下	0.00	0.02以下	0.00	
全アルカリ量(kg/m ³)	0.30以下	0.04	0.30以下	0.06	

使用量はセメント質量に対して1.0%使用
塩化物イオン量および全アルカリ量はシーカメント®1100NT、シーカメント®1100NTRの分析値より算出

注意

重要事項

混和剤タンク内への立入りは禁止です。

使用

- ・減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料(セメント、骨材など)、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- ・推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験練りを行って下さい。
- ・他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。
- ・ナフタレン系やメラミン系の流動化剤は使用しないで下さい。
- ・色は時間と共に多少変化しますが、性能上は問題ありません。

取扱いおよび
応急措置

- ・長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- ・皮膚に付着した場合は水と石鹸で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い医師の診断を受けて下さい。
- ・詳細は製品安全データシートを参照して下さい。

保管

- ・直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。また、開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。
- ・凍結した場合(氷点:-2℃)は自然解凍させ、よく混合して使用して下さい。

廃棄

産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複製複製及び無断転載は禁止されています。

Construction



日本シーカ株式会社
コンクリート用建設資材本部
〒108-6110 東京都港区港南2-15-2品川インターシティB棟10F
TEL03-6433-2311 FAX03-6433-2102
<http://www.sika-japan.co.jp/>

